

ゴルフの小噺

門脇 隆

(昭和40年土木科卒)



スコッチ1本がゴルフの18ホールを決めた

ゴルフ発祥の頃、ホール数に決まりは無くバラバラにラウンドしていた。ある日、ホール数を定める会議が持たれた所、皆が勝手な事を言い始めて収拾がつかなくなりそうになった時、1人の老ゴルファーが立ち上がった。「私は、ゴルフバックに上等のスコッチウスキーを1本入れてコースに出るが、ティに立つたびに1杯キュッとやる。ちょうど18杯やると、スコッチのピンが空っぽになるんだよ、だから18ホールにしてくださらんか？」スコットランドの海側のコースは、風が冷たく吹いていてとにかく寒い。日本でも、真冬のゴルフに熱燗が欲しくなるのと同様に、スコッチウスキーはスコットランドのゴルファーにとっては必需品だったのである。それにも増して、参加者全員がウスキー好きだったから、この提案に痛感銘を受け、満場一致で18ホールに決まったのである。また、19番ホールというのも、この持参のピンを空にして、クラブハウスのバーのカウンターでキュッと1杯やる事から生まれたのである。

ハンディキャップが出来た話

スコッチの本場スコットランドでは、飲んべえが多く3人も集まれば、朝からでも居酒屋に直行し酒盛りが始まる。問題は勘定を誰が払うかだ。ゴルフに限らず、酒飲みにも強い人弱い人がいて、酒量におおじて勘定を払うのでは何とも味気なく、そこで、酔った頭で誰が考えたのか？有り金をキャップ(帽子)の中に入れ、誰がいくら払ったのかをわからないようにして勘定を払う事になった。つまり帽子の中の手「Hands in a CAP」これが縮ってハンディキャップと言われるようになってしまった。これなら不公平も無く上手に治まったので現在でも使われるようになった。

ゴルフのカップの大きさは

グリーン上のカップの大きさは、やれ大きいだの、小さいだのと議

論が戦わされてきたが、実際のところ、4インチと4分の1の大きさには何の根拠もなかった。

その昔カップは、小さいシャベルでその日の気分で、適当な穴を開けてプレーしていたのである。当時は各ホールごとに勝負をつけるマッチプレーだったから何の不都合も無かったが手掘りだとカップの縁が崩れ落ちてくる。たまたま、ある日、ラウンドしていたゴルファーがそばに転がっていた土管を埋め込んでみたら非常に具合が良い。この土管の太さが4インチ4分の1だったのである。(古来より穴談議には根拠のない笑い話が数多く残っている)

旗の事をなぜ「ピン」というのか？

グリーン上に立ててある旗は、なぜ「ピン」と呼ばれているのか？ピンは、物を壁などに止めるあの「ピン」の事から来ている。裁縫などにも使われるほか、地図上でどこからどこまでといった目印にも使われる、ドライブマップなどの距離表示も大抵このマークで区切っている。その意味でゴルフの旗も、ホールの位置を示す標識としてピンの名称はピッタリだったのである。実際にアメリカのメリオンゴルフクラブなどでは、旗の代わりに柳の枝で編んだラグビーボール大の球を付け、ピンの形そっくりにしたピンを立てているゴルフ場も有る。駄洒落れとしては、旗を竿に例えると、風雨にさらされ、夏の暑さ、冬の寒さにも耐え「ピン」と立っているのは、何か男の象徴にも似ている。年齢をかさねても毅然と待ち構えて居たい物である。

バンカーの話

初期の頃、イギリスのゴルフ場では羊が放し飼いされていた。海から吹き寄せる寒風や嵐が、羊たちに情け容赦なく襲いかかったので、窪地に穴を掘りお互い身を寄せ合って厳しい自然に対処しようとした、これが現在のバンカーの起源である。やっかいな事に、このバンカーに1度入ると名手でも何回も打つ羽目になったものだ。名選手ジーンサラゼンがサンドウェッジの発明者だが、バンカーが苦手でいつもタイトルを取れずにいた、ヒントになったのは飛行機の尾翼の形で、尾翼が下がると機首が上がる原理でヘッドのソールを丸く出っ張る形状にし、そこに砂が当たるように砂の爆発力を利用してボールを上げれば良いと考えた。サンドウェッジの試作品を持って出場した全英オープンで優勝したのである。どんなバンカーでもワンパット圏内に寄せてパーを取り、試合中は打つたびにヘッドをタオルで隠したという。

居酒屋 **どんたく** 唐木田店

電話 042-389-1009

営業時間 PM5:00~AM4:00

〒206-0034 多摩市鶴牧2-23-7 AIビル101

大人気! 元祖 めんたい玉子焼

マンション・住宅 設計監理 / 商業施設インテリアデザイン設計監理

BEE DESIGN

有限会社 ビーデザイン 一級建築士事務所

代表 竹下 亨 (昭和57年地質工業科卒)

東京都渋谷区本町 6-6-9 〒151-0071

TEL03-3375-0108 FAX03-3375-0109

MAIL:INFO@BEE-DESIGN.JP

HTTP://WWW.BEE-DESIGN.JP

DESIGN BEEDESIGN BEEDESIGN BEEDESIGN BEEDESIGN